

## Microbit-V2 の本体説明

### 【必要なもの】

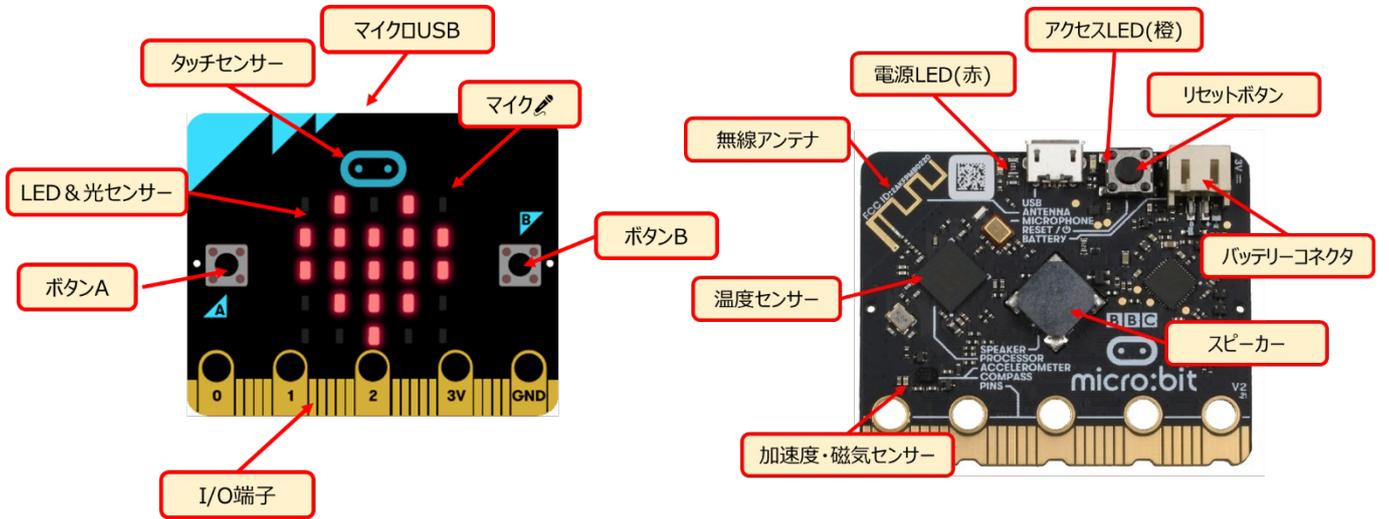
- ・USB 接続ケーブル (TypeB→C)

### 【タブレット側】

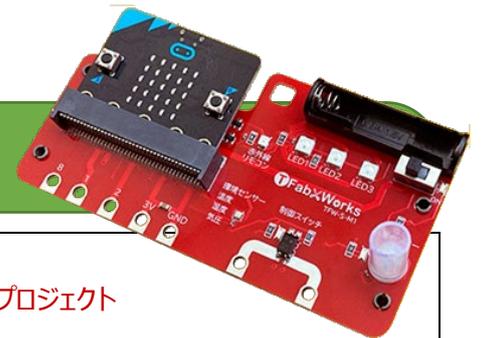
- ・Bluetooth を ON
- ・URL アクセス

<https://makecode.microbit.org/>

### 【各部の説明】



## Microbit と T-fab 赤ボードの説明



### 【必要なもの】

- ・単四乾電池 (ボード電源供給用)
- ・リード線 (3本以上)
- ・豆電球ソケット付き (LED 電球等)
- ・乾電池ボックス (または蓄電池等)

### 【タブレット側】

- ・専用ブロックが用意されたプロジェクト

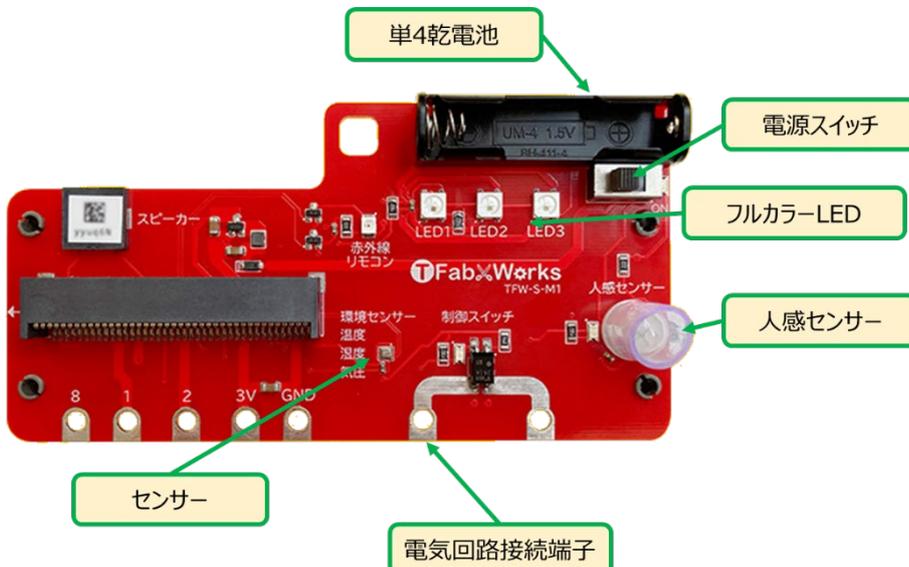
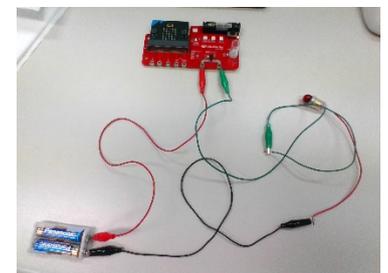
<http://tfab.jp/stem-s>

または、拡張機能から [ tfabworks/pxt-stem-s ] 入力

### 【各部の説明】

### 接続イメージ

↓↓



## PROG\_1 Microbit 本体のセンサーを確かめよう (※STEM-S 拡張ブロックを追加)

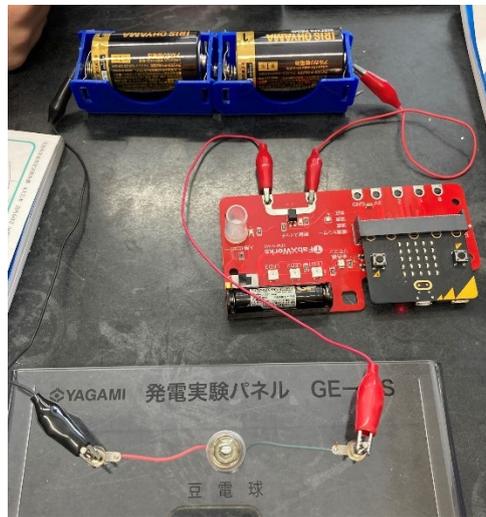
```
ずっと
もし 15 より 暗い なら
  アイコンを表示
でなければ
  表示を消す
```

●本体の光センサー部の明るさを遮ったときに、LED に表示が出ることを確認。

## PROG\_2 制御スイッチを使って実際に回路をコントロールしよう

```
ずっと
もし 15 より 暗い なら
  アイコンを表示
  制御スイッチON
でなければ
  表示を消す
  制御スイッチOFF
```

●赤ボードを使って制御スイッチを確認する。



## PROG\_3 2つのセンサーを使って条件を追加しよう

●用意されたブロックで

```
ずっと
もし 15 より暗いときに人が動いた なら
  制御スイッチON
でなければ
  制御スイッチOFF
```

●かつ条件を使って

```
ずっと
もし 15 より 暗い かつ 人が動いた なら
  制御スイッチON
でなければ
  制御スイッチOFF
```

●LED 表示のブロックを入れておくことで、スイッチの ON/OFF を可視化できるためオススメです。